

中国料理 香妃

業種	宿泊・飲食サービス業	事業所所在地	千葉県旭市	資本金	
				従業員数	3名

 	被承継者（左）		
	高埜 清	71歳	※承継時
承継者（右）			
	高埜 直宣	38歳	※承継時
事業承継を行った時期		被承継者と承継者の関係	
2019年12月		子ども	
承継前の主たる事業の内容		承継前の主たる事業の課題	
家族で営む中国料理店		・既存商品・サービスの売上高の拡大	両親の高齢化によるサービス内容の行き詰まり

事業承継を実行するまで		
きっかけは？	承継計画の立案	承継までの不安と準備
承継実行の 1年前	被承継者と承継者で話し合ったこと	被承継者の承継に対する不安
両親が当店を始めて40年が経ち、10年前に私が店に加入して家族3人で仕事をしていました。両親の高齢化が事業承継のきっかけになりました。	設備投資して家族連れメニューを加えて一新するかどうか	既存の集客率が下がって、仕事なくなる不安
	関係者との調整	承継者の承継に対する不安
	特になし	今までの集客が減るのではないか、両親の引退でオペレーションに不備が発生するのではないか

これに一番苦労した！

代表交代を拒否された経緯がある。事業承継がなかなか進んでない状況であったが今回、事業承継補助金の活用がきっかけになり、現代表からの事業承継が実現することになった。

相談した機関の業種	承継に関して受けたサポート内容
商工会・商工会議所	事業承継補助金の資料作成や設備投資の資金借入れやスムーズな代替りの相談
いつから相談？	
承継実行の 1年前	
相談のきっかけ	
事業承継のために承継者または被承継者自身がアプローチした	

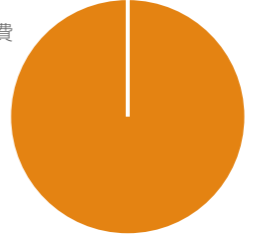
経営革新等に係る取組の標題

地元千葉県旭市産「いも豚」を活用した家族向け新メニューの試作開発

新たな取り組み内容	その他の新たな事業活動
-----------	-------------

- 本補助事業の実施により、新たに千葉県産「いも豚」を活用した家族向け新メニューを考案する。客単価を増加させるためにサイドメニューでの注文を得るため「いも豚の焼売」を開発し、また、若者顧客に訴求するため「いも豚排骨」を、高齢者向けには「黒酢でからめたいも豚排骨」を開発する。
- こうした新たなメニュー開発により、当店がこれまで得られていなかった家族連れ（お子様、高齢者を含む）の顧客を取り込むことを目的とする。青年及び壮年層の顧客は確保できていることから、家族連れ層からの支持が得られれば、デイナーへの集客拡大を見込んでいる。
- また、販売促進については、旭市商工会からの指導を受けてホームページやSNSの運用により、新規顧客の誘致を実現する。当店のPR活動を強化することにより、常連客の増加を目指す。



地域経済やバリューチェーンへの貢献	補助対象経費の内訳
地産地消や地域イベントによる町おこしの寄付金協賛など	<p>■ 設備費</p>  <p>経費の主な使い道</p> <p>設備費（業務用冷蔵庫、冷凍庫、調理器具購入費、厨房排水設備工事費）</p>

認定経営革新等支援機関の名称：千葉県商工会連合会（旭市商工会）

認定経営革新等支援機関から受けたサポート内容			
<input checked="" type="checkbox"/> 制度内容の理解	<input checked="" type="checkbox"/> 事業計画の立案	<input checked="" type="checkbox"/> 各種提出書類の作成	<input checked="" type="checkbox"/> 補助事業の実施

補助金の資料作成で苦手なパソコン入力や事業計画のサポートをしてもらいました。

今後に向けて～次の目標

2019年から2022年に向けて	旭市について市場調査を実施したところ、「高齢者割合が高い」、「一家族あたりの構成人数が多い」という特徴がある。できるだけ早期（3年）に大家族をターゲットにした顧客増加を目標にする。
売上高	20 %UP

これから事業承継に取り組む事業者の方へ

被承継者からの一言コメント	承継者からの一言コメント
しっかりと話し合い被承継者と承継者が共に納得できるように、最善を尽くして事業承継することが大事だと思います。	両親が始めたお店を引き継ぐ際に難しく感じたのは、話し合いと折り合いがすべてです。事業承継をすると色々な面に不安が生じるため、創業者の協力と理解を求めて進むことが大事です。